

🍃 はじめに 🍃

ホームページ制作 (Webサイト制作) において、WordPressはとても人気があり、個人のブログから企業のホームページまで幅広く使われています。なぜそんなに人気があるかというと、初心者から上級者まで幅広いレベルのユーザーが利用しやすい設計だからです。また、カスタマイズして思い通りに作成することができ、プログラムの改変も自由にできるためです。

しかしながら、その自由度の高さはメリットとなる一方で、テーマの変更に際して注意が必要な側面もあります。テーマが異なると、操作方法が変わることがあるため、つまりいてしまう可能性があるのです。そのため、最初にWordPressの基本操作を学ぶことはとても重要となります。

本書は、最新のWordPressの基本操作を解説しています。これからWordPressを覚えようとする人に向けて、本文の構成にこだわりました。まず、Chapter 1～3で、投稿までの操作方法を解説します。Chapter 4では、さまざまなブロックの使い方を覚えていただきます。ブロック操作に慣れてきたら、Chapter 5のパターンです。パターンは、複数のブロックで構成されているため、Chapter 4で学習した内容の演習となります。そして、Chapter 6では、話題の「フルサイト編集」特有の操作方法を説明します。この部分は、はじめての人には難しい操作もありますが、このChapterを突破することで一気にレベルアップできるのでがんばってください。Chapter 7は、ホームページの運用と管理について、Chapter 8は、よくある質問・疑問を取り上げました。

1冊を読み終えると、WordPressの基本操作をマスターできるようになっています。そして、その頃にはきっとワンランク上のホームページを作りたくなっていることでしょう。一からやり直したいときには、Chapter 8の最後にWordPressをリセットする方法を載せたので、参考にしてください。本書を通して、ホームページ作りの楽しさ、そしてWordPressでのホームページ制作に魅力を感じてもらえたら幸いです。

最後になりましたが、解説に使用する写真をご提供いただいたインスタグラマーのHatsumiさん (@honeycafe8)、技術評論社編集部の皆様、ご尽力いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

2023年9月 桑名 由美

[執筆環境] Windows 11、iOS 16.6、Android 13

目次

はじめに	003
本書の使い方	004
サンプル画像のダウンロード	005

Chapter 1 WordPressを始める準備をしよう

Section 01 WordPressについて知ろう	16
Section 02 WordPressを使うために必要なもの	18
Section 03 WordPress導入の手順を確認しよう	20
Section 04 ドメインを取得しよう	22
Section 05 サーバーをレンタルしよう	26
Section 06 WordPressを自動インストールしよう	30
Section 07 安全なサイトにするためにSSL化しよう	32
Section 08 WordPressにログイン・ログアウトしよう	34

Chapter 2 ホームページの土台を作ろう

Section 01 管理画面の見方を知ろう	40
Section 02 サイトタイトルやURLなどを登録しよう	42
Section 03 パーマリンクを設定しよう	44
Section 04 サイトの基本デザイン「テーマ」を理解しよう	46
Section 05 テーマを設定しよう	48
Section 06 スタイルを設定しよう	50
Section 07 サイトを表示しよう	52

Chapter 3 固定ページと投稿で基本のホームページを作ろう

Section 01 「固定ページ」と「投稿」の違い	56
Section 02 不要な投稿やページを削除しよう	58
Section 03 新しい固定ページを作成しよう	60
Section 04 タイトルと内容を入力しよう	62
Section 05 ページに画像を挿入しよう	64
Section 06 画像や文字にリンクを設定しよう	68
Section 07 ページを下書き保存しよう	70
Section 08 ページを公開しよう	72
Section 09 新しい投稿を作成しよう	74
Section 10 見出しを入れよう	76

Section 11	文字を太字にしたり色をつけたりしよう	78
Section 12	記事の先頭にアイキャッチ画像を入れよう	80
Section 13	投稿のカテゴリーを設定しよう	82
Section 14	投稿にタグを設定しよう	86
Section 15	コメントの受付について設定しよう	88
Section 16	公開した投稿を修正しよう	92

Section 13	「テーマ」グループのブロックで投稿一覧や投稿の抜粋を 載せよう	138
Section 14	「スペーサー」ブロックで余白を調整しよう	140
Section 15	「ボタン」ブロックでリンクボタンを作成しよう	142
Section 16	その他の便利なブロックを使ってみよう	144
Section 17	ブロックを複製・移動・削除しよう	146
Section 18	よく使う内容は同期パターンで使いまわそう	148

Chapter 4 便利なブロックを使おう

Section 01	「リスト」ブロックで箇条書きを追加しよう	98
Section 02	「段落」と「整形済みテキスト」ブロックで本文を 入力しよう	100
Section 03	「カバー」ブロックで画像の上に文字を載せよう	104
Section 04	「テーブル」ブロックで表を追加しよう	110
Section 05	「カラム」ブロックを追加しよう	114
Section 06	「カスタムHTML」ブロックでGoogleマップの地図を 入れよう	116
Section 07	「横並び」ブロックでブロックの配置を自由に変えよう	118
Section 08	「動画」ブロックで動画を追加しよう	120
Section 09	「メディアとテキスト」ブロックで画像と文章を 配置しよう	124
Section 10	「プルクオート」ブロックで引用をわかりやすくしよう	126
Section 11	「埋め込み」グループのブロックでSNSの投稿を載せよう	128
Section 12	「ギャラリー」ブロックで画像を一覧表示しよう	134

Chapter 5 レイアウトを整えるパターンを使おう

Section 01	使用するパターンを確認しよう	154
Section 02	価格表をわかりやすく載せよう	156
Section 03	トップページに大きな画像を追加しよう	158
Section 04	お問い合わせのボタンを追加しよう	162
Section 05	トップページに動画を載せて注目してもらおう	164
Section 06	テキストグループのパターンでテキストを 読みやすくしよう	166
Section 07	いろいろなレイアウトのパターンを使おう	168

Chapter 6 フルサイト編集でより見やすいホームページにしよう

Section 01	投稿と固定ページのテンプレートを編集しよう	174
Section 02	見出しのスタイルを編集しよう	178
Section 03	WordPressのメニューのしくみを知ろう	180
Section 04	メニューを作成して表示しよう	182
Section 05	メニューに階層を作ってまとめよう	186
Section 06	ロゴとサイトアイコンを追加しよう	188
Section 07	フッターにコピーライトを入れよう	192
Section 08	各ページの下部にメニューを表示しよう	194
Section 09	固定ページをトップページに表示しよう	196
Section 10	プラグインを使ってお問い合わせフォームを作ろう	200
Section 11	サイドバーを表示しよう	206

Chapter 7 Webサイトを運用・管理しよう

Section 01	検索エンジンに検索してもらえるようにしよう	216
Section 02	アクセス解析ツールを利用しよう	220
Section 03	プラグインの管理をしよう	224
Section 04	サイト管理者を追加しよう	226
Section 05	スマートフォンやタブレットから投稿しよう	228
Section 06	メディアライブラリで写真や動画を確認しよう	232
Section 07	ホームページのバックアップと復元について知ろう	234

Chapter 8 WordPress 困ったときのFAQ

Section 01	WordPressのパスワードとユーザー名を忘れた!	238
Section 02	WordPressの管理画面のURLがわからなくなった!	239
Section 03	突然ページにアクセスできなくなった!	240
Section 04	以前のバージョンの投稿画面に戻すことはできる?	241
Section 05	以前のバージョンで作ったページは編集できる?	242
Section 06	検索しても自分のホームページが出てこない!	243
Section 07	画像がアップロードできない!	244
Section 08	プラグインの不具合が起きた!	245
Section 09	編集して公開したページが反映されない!	246
Section 10	「http～」から「https～」へリダイレクトさせたい!	248
Section 11	テーマの一部だけカスタマイズすることは可能?	250
Section 12	ホームページをはじめから作り直したい!	251

索引	252
----	-----



WordPress を 使えるようにしよう

WordPress について理解する

WordPressでWebサイトを作れるということはわかっていても、他のWebサイト作成ツールとは何が違うのかを説明するのはなかなか難しいと思います。まずは、

「なぜWordPressを使うのか?」「WordPressにはどんなメリットがあるのか?」を理解しましょう。

なぜWordPressが使われるのでしょうか?

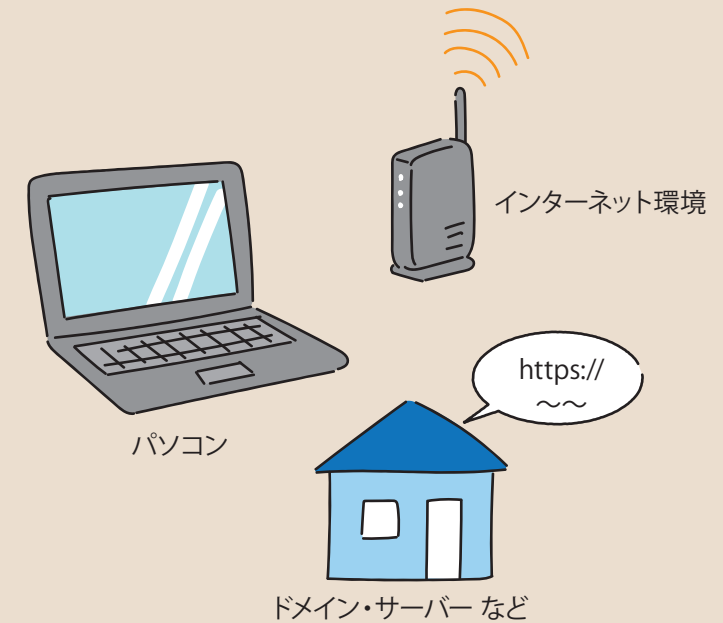


なぜWordPress? メリットは?



WordPressに必要なものを確認する

WordPressは、インターネットにつながっていないと始められません。また、パソコンやWebサーバーというものが必要です。



WordPressをインストールする

レンタルサーバーサービスを契約したら、WebサーバーにWordPressをインストールします。そして実際にログインして、自分のWebサイトの管理画面に入れるか否かを確認します。また、ログアウトの方法も覚えましょう。



WordPressについて知ろう

これからWordPressを使ってWebサイトを作成していきますが、そもそもWordPressがどのようなものかを説明します。多くのユーザーが利用している理由やメリットを知っておけば安心してサイト作りができるはずです。

WordPressって何?

WordPressの公式サイトによると、Web上の43%のサイトがWordPressを使っているそうです。なぜそんなにWordPressが使われているのでしょうか？
そもそもWebサイト(ホームページ)というのは、HTMLという言葉でファイルを作成し、インターネット上にアップロードするだけで表示することができます。ですが、その方法では毎回ページを作成し、他のページへのリンクを設定することになるので効率的ではありません。ファイルのアップロードも手間がかかります。そこでWordPressの登場です。専門的な知識がなくてもWebコンテンツの投稿や管理を効率的にできるシステム

のことをCMS(Content Management System)と言いますが、WordPressもCMSの1つです。Webサイト制作がはじめての人でも操作することができ、効率的に見栄えのよいサイトを作れるというのが人気の理由です。それだけではありません。もし足りない機能が合った場合は、「プラグイン」というものを使って追加して使うことができます。たとえば「お問い合わせフォームを作成したい」と思ったら、プラグインを追加することで簡単に作成できるのです。その上、オープンソースソフトウェアなので、自由に改変や再配布ができ、商用にも利用できるという点も多くの人に支持されている理由です。

WordPressで作成されたWebサイト



●さいたまスーパーアリーナ
<https://www.saitama-arena.co.jp/arena/>



●株式会社カカコム
<https://corporate.kakaku.com/>

WordPressのメリット

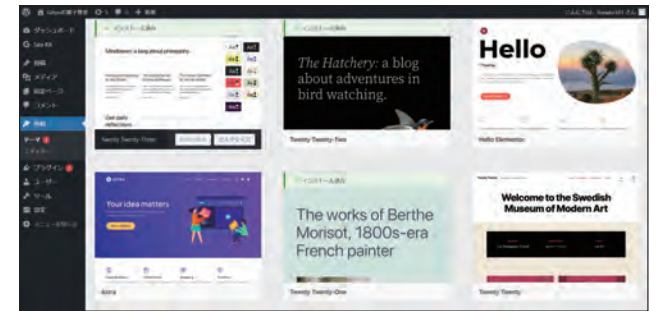
ソフトを購入せずにWebサイトを作成できる

WordPressは専用ソフトを購入する必要はありません。普段使用しているMicrosoft EdgeやGoogle Chromeなどのブラウザを使って、Webサイトを作成・投稿・管理できます。



テーマが豊富に用意されている

「テーマ」というひな型がたくさん用意されているので、目的や好みに合わせて選ぶことができます。



複数人で管理ができる

企業や店舗の場合、複数人でWebサイトを管理することがありますが、WordPressを使うと「記事を作成するだけの人」「記事を公開する人」のように分担することもできます。



その他のメリット

WordPress本体に足りない機能がある場合は、プラグイン(P.200参照)を使って追加することができます。また、ネットの検索結果で上位に表示させるSEO対策がしやすいので、集客アップを期待できます。

WordPressにかかる費用

WordPress本体は、誰でも無料で使えます。必要なのは、レンタルサーバー代(P.26参照)です。また、企業名や店舗名が入ったアドレスにするにはドメインの費用が必要です(P.22参照)。その他、有料のテーマやプラグインもありますが、ひとまず無料で試してみることをおすすめします。

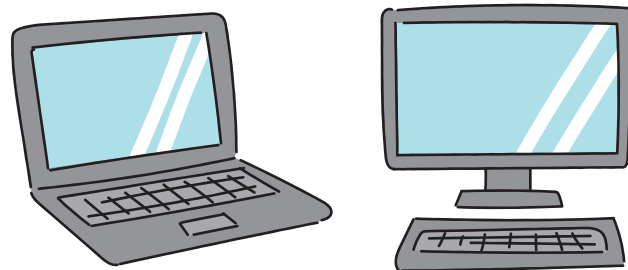
WordPress を使うために 必要なもの

WordPress で作成した Web サイトを見ると、費用をかけて作ったように見えるかもしれませんが、WordPress 本体は誰でも無料で使えます。それ以外に何が必要なのかをここで確認しておきましょう。

WordPress には何が 필요한の？

パソコン

WordPress を操作するためにはパソコンが必要です。スマホでも使えますが、機能が限られているので Web 制作に本気で取り組むならパソコンを用意しましょう。



スマホの「WordPress」のアプリ
iPhone 用と Android 用の「WordPress — サイトビルダー」というアプリがあります。使い方は、P.228 で紹介します。

インターネット環境

WordPress はインターネット上で使用するのでインターネット環境が必要です。パソコンでインターネットが使える状態にしておきましょう。



インターネットの通信プラン
普段スマホだけでインターネットを利用している人もいるでしょうが、Web サイト制作は動画や写真をたくさんアップロードするので、パソコンでインターネットが使える環境にしましょう。データ通信量に制限があるプランを利用している人は、契約プランを変更することも検討してください。すでにパソコンでインターネットを使っている人はそのまま大丈夫です。

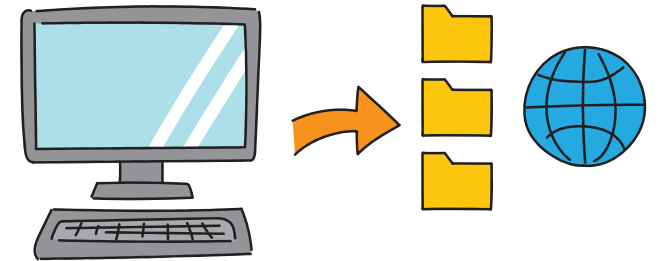


Web サーバー

インターネット上にファイルを置くためのコンピュータが必要です。通常はレンタルサーバーを契約して使用します。



Web サーバーとは
インターネット上には、Web サーバーというコンピュータがあり、そのコンピュータにファイルを置くことで、世界中の人が閲覧できるしくみになっています。個人が Web サーバーを用意するには高度な知識と費用がかかるので、ほとんどの人がレンタルサーバーを契約して利用しています。



ブラウザ

WordPress は、専用のアプリをインストールする必要がありません。インターネットで Web サイトを閲覧するときのブラウザで操作します。



ブラウザとは
普段インターネットで Web サイトを見るときに使っているアプリがブラウザです。WordPress でサポートされているパソコン用のブラウザは、「Microsoft Edge」「Google Chrome」「Mozilla Firefox」「Safari」「Opera」となっています。

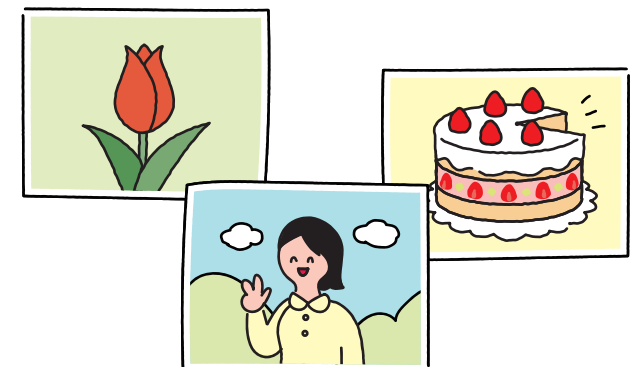


写真やイラストなどの素材

どのような写真またはイラストを使うかによって Web サイトのイメージが大きく変わります。なるべく見栄えのよいものを用意しましょう。



その他にあると便利なもの
写真の明るさを調整したり、写真に文字を入れるには、画像編集ソフトがあると便利です。たとえば「Adobe Express」(<https://www.adobe.com/jp/express/>) や「Canva」(<https://www.canva.com/>) といったオンラインデザインツールもあるので、利用するとよいでしょう。また、動画を編集する場合は動画編集ソフトが必要です。



管理画面の見方を知ろう

WordPressにログインすると、「ダッシュボード」という画面が表示されます。
まずは最初の状態の画面構成を確認しておきましょう。

画面構成



ツールバー

- 1 クリックするとWordPressについての画面が表示されます。ポイントして表示される一覧から、WordPressの公式サイトやサポートページを表示できます。
- 2 クリックすると、Webサイトが表示されます。
- 3 プラグインやテーマの更新があるときに数字が表示されます。
- 4 コメントがついたときに数字が表示されます。クリックするとコメントの画面を表示します。
- 5 クリックまたはポイントした一覧から新しい投稿ができます。
- 6 ポイントするとプロフィール編集やログアウトができます。

メインナビゲーション

- 1 各項目をクリックすると、記事の投稿や、デザインの変更などができます。
- 2 メニューを折りたたむことができます。再度クリックすると表示されます。

ワークエリア

- 1 サイトの改善点をチェックできます。
- 2 投稿のアイデアを書き留めておくことができます。
- 3 投稿した記事の数やコメントの数を確認できます。
- 4 コメントがあると表示されます。

ワークエリア

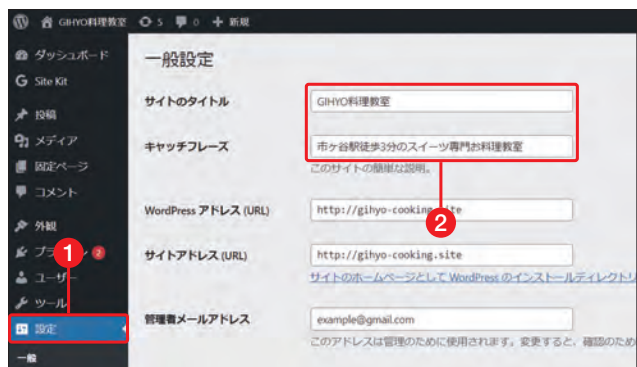
画面表示が異なる場合
使用するテーマやプラグインによっては、追加の機能がメインナビゲーションやツールバーに表示される場合があります。

サイトタイトルやURLなどを登録しよう

サイト名やキャッチフレーズは、インターネットで検索したときに表示される重要な設定です。より多くの人に見てもらえるように工夫しましょう。また、サイトのURLも忘れずに設定してください。

サイトタイトルを設定する

- 1 [設定] をクリックし①、[サイトのタイトル] にサイト名、[キャッチフレーズ] にサイトの説明を入力します②。



- 2 [WordPressアドレス] と [サイトアドレス] の「http」を「https」に変更します① (P.32 で SSL 化した場合)。



サイトのタイトルとキャッチフレーズ

[サイトのタイトル] とは Web サイトにつけるタイトルのことで、ブラウザのタイトルバーにも表示されます。また、ネットの検索結果にも大きめの文字で表示されます。P.30 で WordPress をインストールする際にも入力しましたが、内容に適したタイトルになっているか確認しましょう。[キャッチフレーズ] には、何のサイトであるかわかるように短文で入力します。検索サイトの結果にも影響するので、工夫しながら入力してください。

WordPress アドレスとサイトアドレスを確認する

[WordPress アドレス] と [サイトアドレス] が、P.22 で設定した独自ドメインの URL になっているかを確認してください。また、P.32 で SSL の設定をした場合、ここで「https」から始まるアドレスに修正する必要があります。

- 3 [日付形式] の [Y-m-d] をクリックし①、[変更を保存] をクリックします②。

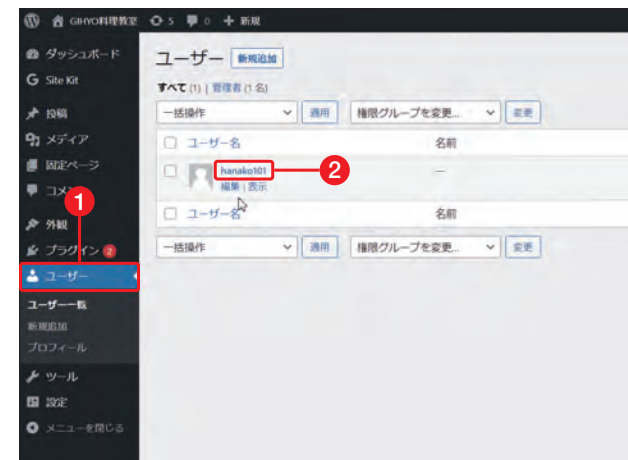
日付形式

日付形式はどの形式でもかまいませんが、数字と漢字が混ざっているとフォントの種類によってはアンバランスに見えることがあります。ここでは「-」で区切って表記する方法に変更します。[カスタム] ボックスに入力し、任意の形式にしてもかまいません。「Y」は year の「年」、「m」は month の「月」、「d」は day の「日」です。ただし、「Y」を「y」にすると「2023」年が「23」年となり、和暦と間違えやすいので大文字で入力しましょう。



ニックネームを変更する

- 1 [ユーザー] をクリックし①、ユーザー名をクリックします②。



- 2 [ニックネーム] に、記事を書くときのニックネームを入力します①。[ブログ上の表示名] の ☑ をクリックし②、入力したニックネームを選択します③。[プロフィールを更新] をクリックします④。

ニックネーム

[ニックネーム] には、デフォルトで WordPress をインストールしたときに設定したユーザー名が表示されています。しかしこのユーザー名は、ログイン時に使用する名前です。そのままでは記事を投稿する際に表示され、ログイン ID が知られることとなります。セキュリティ上、望ましくないで別の名前に変更しましょう。



「固定ページ」と「投稿」の違い

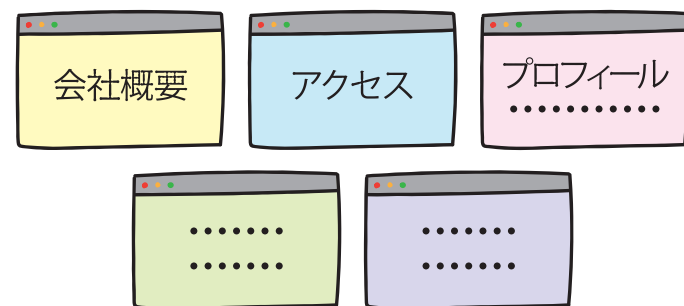
WordPressには、Webページを作成する方法に「固定ページ」と「投稿」があります。はじめてWordPressを使う人はどちらを作成すればよいか迷うと思うので、ここで2つの違いを理解しましょう。

「固定ページ」と「投稿」

WordPressの記事には、「固定ページ」と「投稿」の2種類があります。「店舗案内」や「お問い合わせ」のように頻りに更新する必要がないページが「固定ページ」です。トップページのメニューに表示されていることが多いので、アクセスしやすいという特徴があります。一方、日

記やニュースなどの記事を時系列で載せるのが「投稿」です。ブログサービスを利用したことがある人は、ブログをイメージしてください。時系列に並んでいて、ページをめくるように閲覧できるのが「投稿」です。

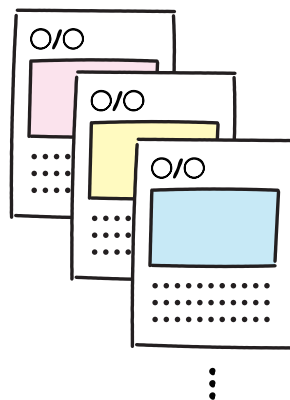
固定ページ



固定ページ

- 内容が変わることがあまりないので、頻りに更新しない
- 常に同じ位置にあるのでページを見つけやすい
- メニューからアクセスできる場合が多い

投稿



投稿

- 日記のように、毎回新しい記事を公開する
- 基本的に日付順で表示され、ページをめくるように閲覧する
- カテゴリーや日付で整理されている

固定ページ

本書で作成するWebページの中で、「コース案内」「アクセス」「お問い合わせ」などは、毎回投稿するものではないので「固定ページ」です。P.60～P.73では、固定ページの作成方法を解説します。



● 固定ページは、メインナビゲーションの「固定ページ」から作成・管理します

投稿

本書で作成するWebページでは、「体験レッスン開催」というタイトルの投稿記事を作成します。その他のページは固定ページです。新しい記事を投稿すると、古い記事は後ろに移動します。P.74～P.94では「投稿」の作成方法を解説します。



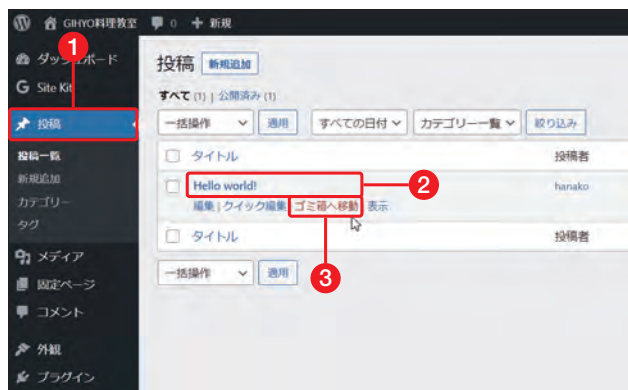
● 投稿は、メインナビゲーションの「投稿」から作成・管理します

不要な投稿やページを 削除しよう

はじめからサンプルで用意されている投稿やページがありますが、使用しないものは削除してかまいません。間違えて削除しても、ゴミ箱から復元することができるので安心してください。

不要な投稿を削除する

- 1 [投稿] をクリックし①、「Hello world!」の投稿をポイントし②、「ゴミ箱へ移動」をクリックします③。



💡 サンプル投稿の削除
投稿一覧にはじめから用意されている「Hello World!」は、サンプルなので削除しても大丈夫です。

- 2 投稿が削除されます①。



削除を取り消す

削除した直後は、上部に表示される「元に戻す」をクリックして削除を取り消すことができます。

- 3 [ゴミ箱] をクリックすると①、削除した投稿があります。ポイントして「復元」をクリックすると、元に戻せます②。



完全に削除するには

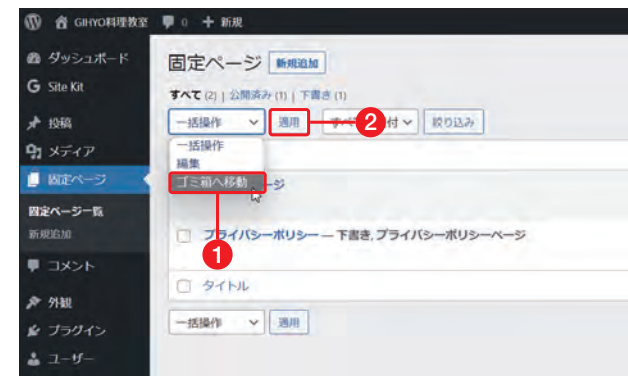
手順3で「完全に削除する」をクリックすると、ゴミ箱からも削除されます。あるいは上部の「ゴミ箱を空にする」をクリックすると、ゴミ箱にある投稿やページをすべて削除できます。ただし、復活できないので慎重に操作してください。

不要な固定ページを削除する

- 1 [固定ページ] をクリックし①、「サンプルページ」にチェックをつけて②、「一括操作」の☑をクリックします③。



- 2 [ゴミ箱へ移動] をクリックし①、「適用」をクリックします②。



複数のページを削除する

左ページと同様に1つずつ削除してもかまいませんが、ここのようにチェックをつければ、複数のページを一括して削除することができます。

「リスト」ブロックで箇条書きを追加しよう

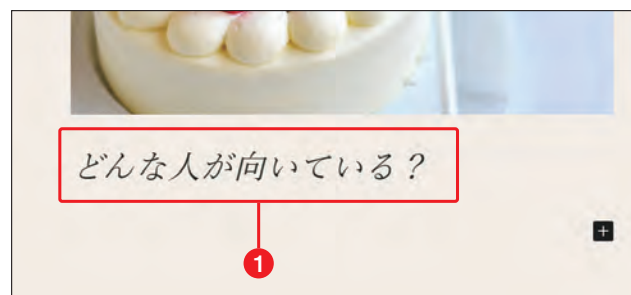
リストとは、箇条書きのことです。長い文章が書かれているページは、目的の情報を探するのが大変なときがありますが、何が書かれているかのリストがあれば探しやすくなります。

「リスト」ブロックを追加する

- 1 P.76と同様に、画面左上の+をクリックして①、[見出し]をクリックします②。



- 2 見出しを入力します①。

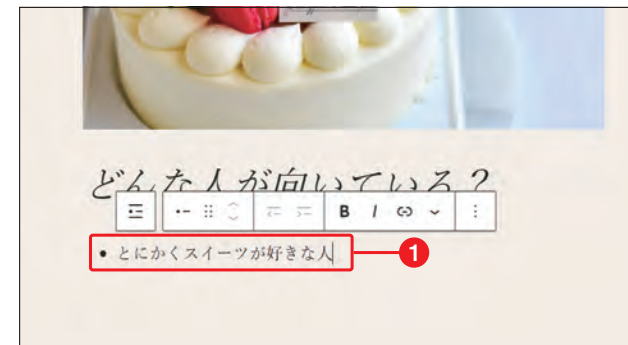


- 3 画面左上の+をクリックして①、[リスト]をクリックします②。

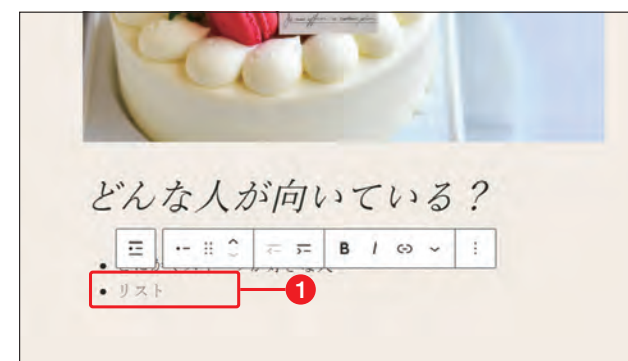


リストとは
リストとは、箇条書きのことです。長い文章が続くと読むのが大変ですが、リストになっていれば手短かに把握できます。また、リストにリンクを設定することで、該当箇所へジャンプして読んでもらうことができます。

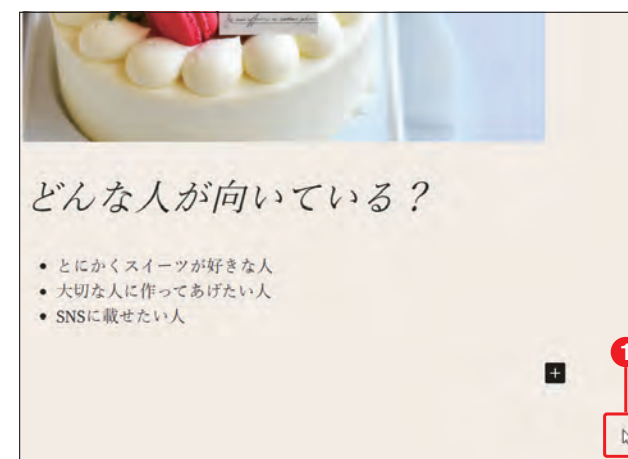
- 4 リストマークが追加されるので、文字を入力して[Enter]キーを押します①。



- 5 次のリストマークが表示されます。文字を入力します①。

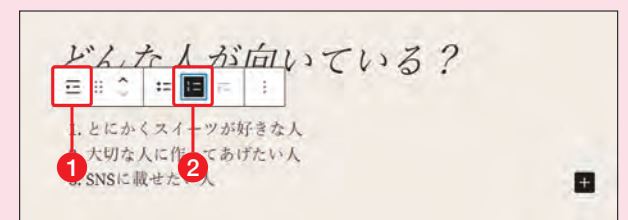


- 6 最後まで入力したら、右下の余白の部分をクリックします①。これで、リストの入力が終了します。



番号付きリスト

リストをクリックし、ブロックツールバーの[リストを選択]をクリックすると①、リスト全体が選択されます。続けて[番号付きリスト]をクリックすると②、1番からの番号がついたリストになります。

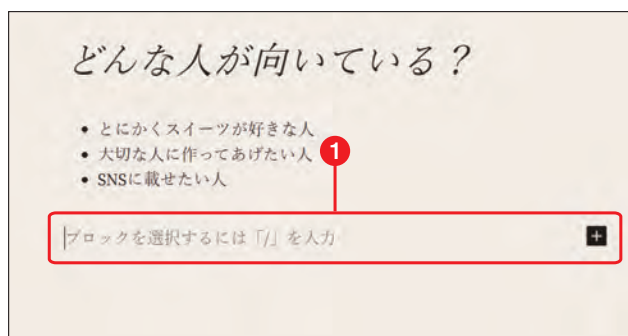


「段落」と「整形済みテキスト」 ブロックで本文を入力しよう

はじめから用意されている「段落」ブロックだけでなく、「段落」ブロックは好きな位置に追加することができます。背景に色をつけることもできるので、イメージに合うように設定してください。

「段落」ブロックを追加する

- 1 リストの下をクリックすると「段落」ブロックが追加されるので、クリックして文章を入力します①。

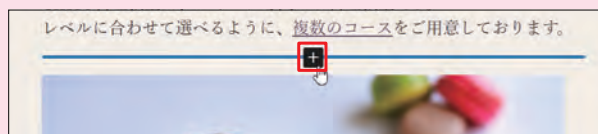


- 2 「設定」がオンの状態で①、設定サイドバーの「ブロック」タブをクリックし②、「カスタムサイズを設定」をクリックします③。



ブロックを追加する方法

ブロックとブロックの間にブロックを追加する場合は、ブロックとブロックの間の中央をポイントすると+が表示されるので、これをクリックします。



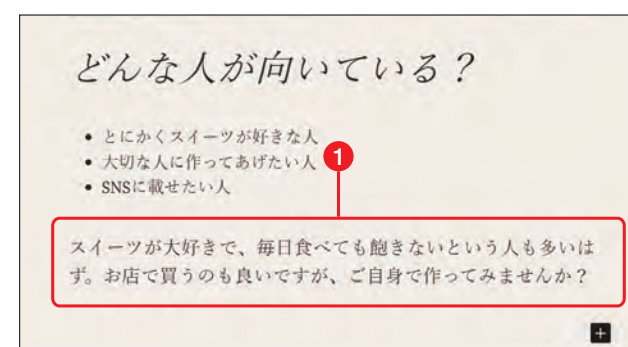
- 3 「23」と入力します①。

設定サイドバーの表示・非表示の切り替え

設定サイドバーは頻りに使用します。手順2にある「設定」で、表示・非表示の切り替えができるようにしましょう。



- 4 「段落」ブロック内の文字が少し大きくなりました①。

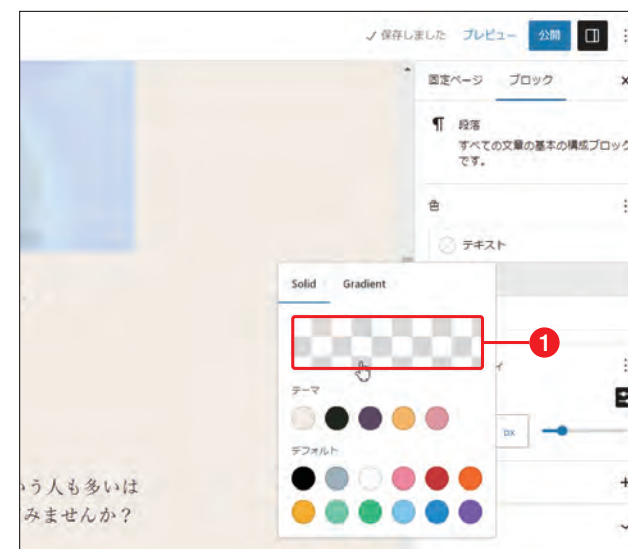


「段落」ブロックに色を設定する

- 1 「段落」ブロックをクリックし、設定サイドバーの「背景」をクリックし、格子模様のボックスをクリックします①。

「段落」ブロックの色設定

P.79では段落内の一部の文字の色を変更しましたが、ここでは「段落」ブロック全体の文字色を設定します。「段落」ブロック内の背景もしくはすべての文字に同じ色が適用されます。



使用するパターンを確認しよう

本書では、Twenty Twenty-Threeに用意されているパターンを使ってトップページの写真や動画、コース一覧の価格表などを作成します。さまざまなパターンに触れることで、手際よく操作できるようになります。

本書で使用するパターン



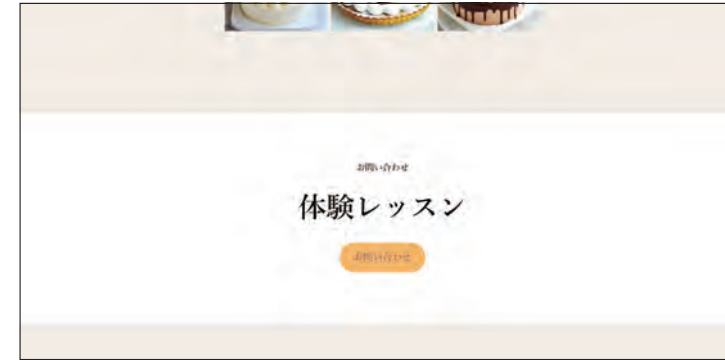
● 価格表を作成します (P.156)

● トップページに大きな画像を入れます (P.158)

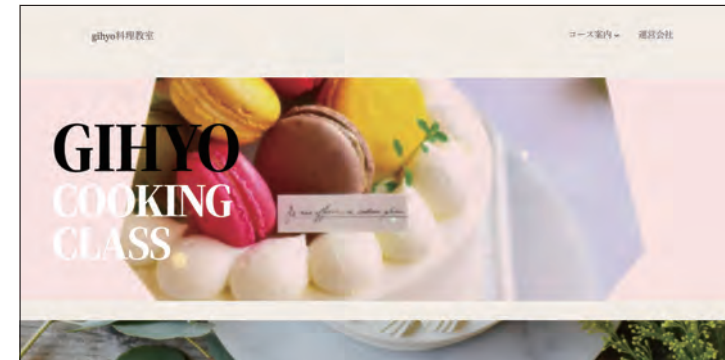


💡 パターンの編集

パターンは、さまざまなブロックの組み合わせで構成されています。イメージに合うように、各ブロックを修正しながら完成させてください。



● お問い合わせボタンを作成します (P.162)



● トップページの最上部に動画を追加します (P.164)



● 3カラムのテキストを並べます (P.166)



● 講師のプロフィールを作成します (P.167)

価格表をわかりやすく 載せよう

商品やサービスの料金表も、パターンを使えば見栄えよく作成できます。

そのまま使用してもよいのですが、写真を追加し、文字を装飾するだけで、オリジナルの表が完成します。

「CTA (行動喚起)」パターンを追加する

- 1 P.60を参考にして、「コース一覧」というタイトルの新しい固定ページを作成します。画面左上の「+」をクリックし①、「パターン」タブをクリックします②。



- 2 一覧から「CTA (行動喚起)」をクリックし①、「Three column pricing table」をクリックします②。



「Three column pricing table」パターン
「Three column pricing table」は、「ボタン」ブロック (P.142) を含んだ価格表のパターンです。「カラム」「見出し」「段落」「区切り」「リスト」「ボタン」ブロックで構成されています。

- 3 パターンが追加されるので、パターン内の文字を修正します。ボタンをクリックし①、ブロックツールバーの「リンク」をクリックして②、リンクを設定します③。



- 4 金額の上中央をポイントし、+ をクリックします①。「画像」をクリックして写真を追加します②。一覧に「画像」がない場合は、「検索」ボックスに「画像」と入力して検索してください。



- 5 見出しの文字をクリックし①、「テキストの配置」をクリックします②。「テキスト中央寄せ」をクリックし③、文字の配置を整えます。その他、文字を太字にするなどの装飾を行います。



見出しを解除するには

見出しの文字をクリックし、ブロックツールバーの「見出し」をクリックして「段落」をクリックすると、「見出し」ブロックを「段落」ブロックに変更することができます。



ショッピングカートにしたい

ここでは、ボタンを作成して外部サービスへ誘導させるという設定ですが、サイト内にショッピングカートを用意したい場合は、「Wecart e-Commerce」というプラグインがあります。簡単にカートを作成でき、管理画面も見やすいです (<https://ja.wordpress.org/plugins/usc-e-shop/>)。

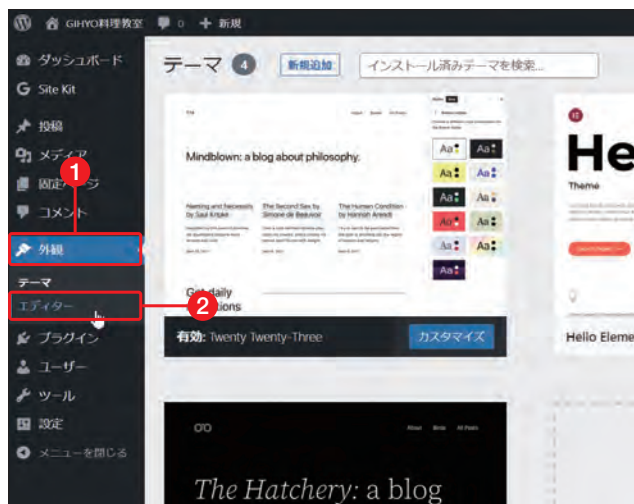
投稿と固定ページのテンプレートを編集しよう

テンプレートを編集することで、レイアウトを一括して変更することができます。フルサイト編集のテーマは、テンプレートも簡単に編集できるようになっています。

投稿のテンプレートを編集する

- ① [外観] をクリックし①、[エディター] をクリックします②。

フルサイト編集とは
フルサイト編集(Full Site Editing、FSE)は、Webサイト内のあらゆる部分をブロックを使って編集できる、最新の機能です。ヘッダーやフッター、ナビゲーションメニューをはじめ、固定ページや投稿のベースとなるテンプレートも、ブロックを使って直感的に操作できます。



- ② [テンプレート] をクリックします①。

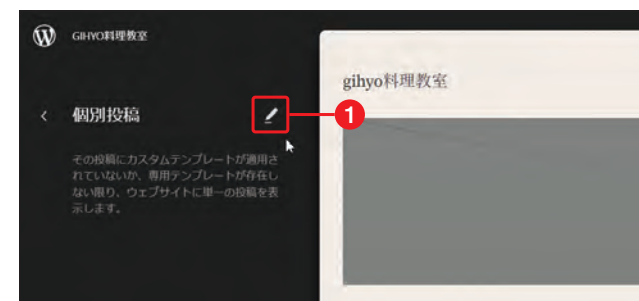
テンプレートとは
テンプレートは、固定ページや投稿のひな型のことです。テンプレートを編集すると、同じテンプレートのページを一括して変更することができます。フルサイト編集では、テンプレートもブロックを使って編集できるので、コードの知識は不要です。



- ③ スクロールして①、[個別投稿] をクリックします②。



- ④ [編集] をクリックします①。



- ⑤ 投稿のテンプレートを編集できる画面が表示されます。アイキャッチ画像をクリックし①、設定サイドバーの[スタイル] をクリックし、[オーバーレイの不透明度] を「0」に設定します②。



テンプレートをデフォルトに戻したい場合

操作しているうちにレイアウトが崩れてしまい、はじめからやり直したい場合は、P.176の手順2で①をクリックし①、[カスタマイズをクリア] をクリックしてください②。



見出しのスタイルを編集しよう

各ページのタイトルや見出しの文字が斜体になっていますが、これはP.50で設定したスタイルに、斜体の見出しが設定されているからです。スタイルを編集することで、これを解決します。

見出しのスタイルを編集する

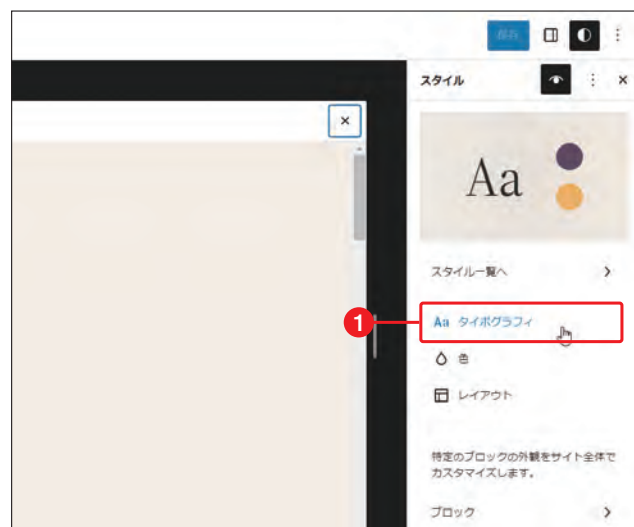
- 1 テンプレート画面の右上にある[スタイル]をクリックし①、[スタイルブック]をクリックして②、スタイルサイドバーを表示します。



スタイルブック

手順1でスタイルブックを表示させると、プレビューを見ながら設定できます。

- 2 [タイポグラフィ]をクリックします①。



その他のスタイル

ここでは見出しのみ変更しますが、P.142の「ボタン」の色、P.110の「テーブル」の背景色も、スタイルを使えば、サイト内のすべての箇所に同じ設定が反映されるしくみになっています。ただし、個別のページで設定した場合は、ページでの設定が優先されます。なお、フォントのサイズや行の高さも変更できますが、いろいろ変更するとバランスが悪くなることもあるので、はじめのうちは最小限の設定にしておきましょう。

- 3 [見出し]をクリックします①。



- 4 [すべて]をクリックし①、[外観]の☒をクリックして[標準]を選択します②。



H1、H2とは

HTML (Web ページ作成に使用する言語) では、見出しのタグを「h」で表します。「h1」が大見出しで、「h2」が次に大きな見出しです。ページタイトルにはh1が設定されているため「H1」、P.76で追加した見出しは「H2」になります。ここではすべての見出しを変更して反映させるので、「すべて」をクリックしています。



- 5 左側のプレビューで斜体が解除されたことを確認し①、[保存]を2回クリックして保存します②。



テンプレートとスタイルの違い

どちらも一括で設定できるので混乱しやすいですが、テンプレートはページに設定するひな型のことで、スタイルは色やサイズなどの見た目を決めるものです。